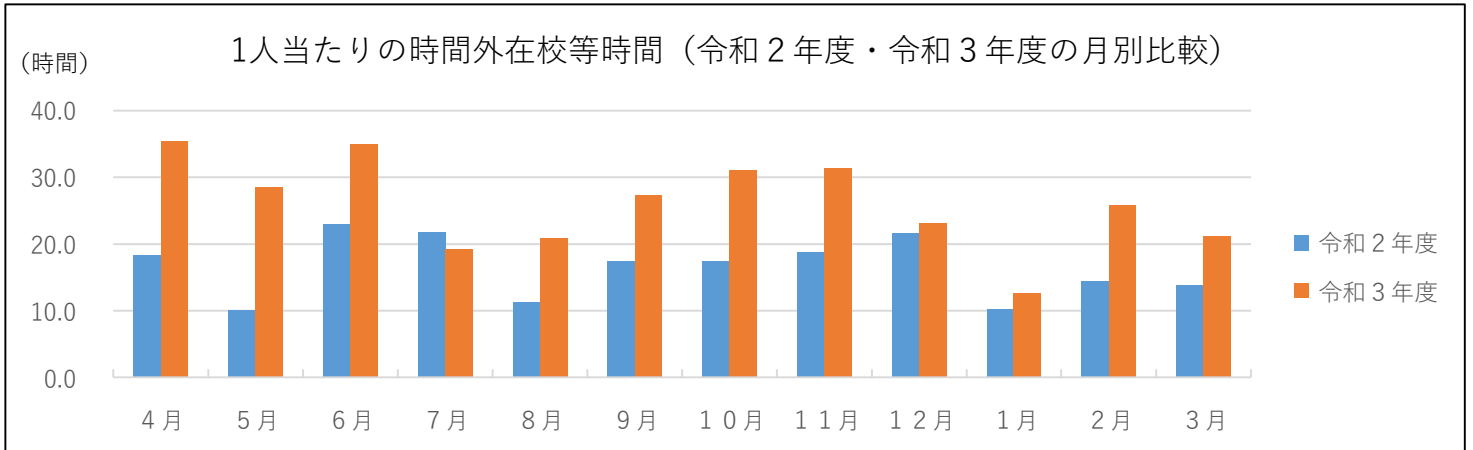


令和3年度(2021年度)

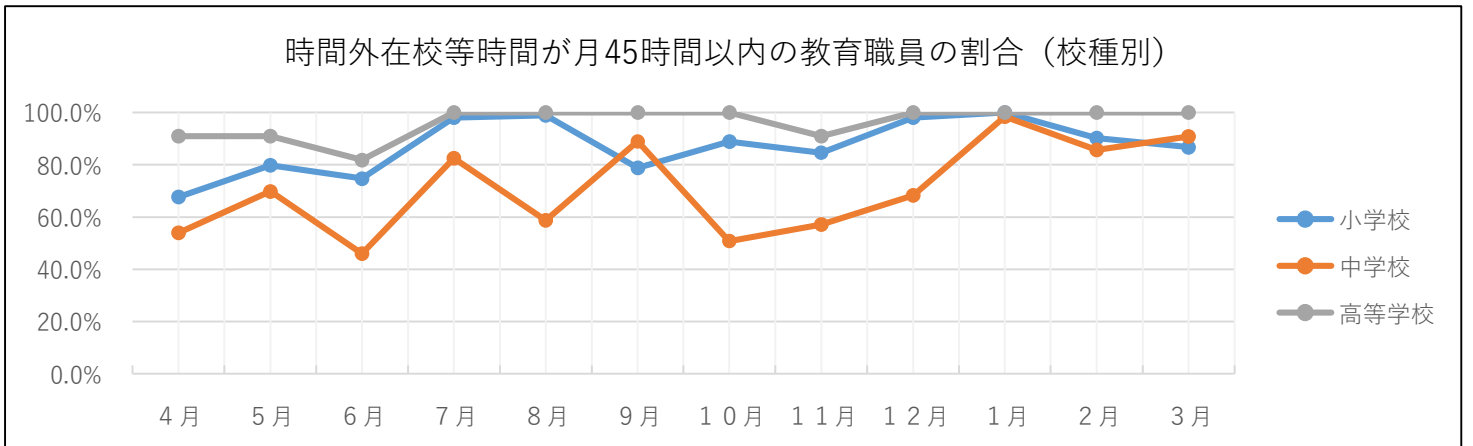
士別市立学校の教職員に係る時間外在校等時間(超過時間)の状況について

- 期 間：令和3年(2021年)4月～令和4年(2022年)3月
- 対 象 校：士別市立の小学校6校、中学校4校、高等学校1校
- 対象職員：教育職員(校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭)

1 月別の時間外在校等時間の推移



2 時間外在校等時間が月45時間以内の教育職員の割合



3 調査結果を踏まえた課題と今後の取組について

- 教育職員の時間外在校等時間(1人当たりの平均値)については令和2年度に引き続き、各月とも45時間以内となっているが、令和3年度の在校時間が増加している。(令和2年度には感染症予防措置による臨時休期間や部活動の自粛期間等があったことが影響していると考えられる。今後の令和4年度以降の時間外在校等時間と比較したい。)
 - 年間の時間外在校等時間については、平均値では360時間以内(令和3年度は312時間)を達成できているが、個人での達成に向けて各学校での工夫を必要としている。
- *道教委では「学校における働き方改革 北海道アクション・プラン」において、教育職員の時間外在校等時間の目標を1か月で45時間、以内、1年間で360時間以内としている。